



宛先: 高速道路無料化推進協議会
会員・オブザーバーの皆様

差出人: 高速道路無料化推進協議会
会長 小野寺 和喜代



ページ数: 1枚(本状含)

日付: R4.1.20

件名: 協議会ニュース 「地域格差の正体」著者の御一人：近藤宙時氏と面談いたしました。

会員・オブザーバーの皆様へ

いつもお世話になっております。掲記の様に 発・第令4-02号でご案内の「地域格差の正体」共著者 近藤宙時氏と1月13日 東京・丸の内の近藤氏オフィスにて面談しました。お会いして、様々な高速道を巡る環境全体の問題を拝聴し、情報の交換や協調を頂きました。そして、当協議会の活動を紹介すると共に高速道路の利用料金制度が齎らす行政の在り方に改めて不安を覚えました。今後は、連絡・連携を深め「訴訟の構え」に関しましても参考人として裁判所に陳述を頂ける運びを進めました。更に、「請願の構え」においては今夏の参議院選挙に照準を合わせ確りとした議員連携によって立法府での決着に向かいたいです。

1月13日 「地域格差の正体」著者の御一人:近藤宙時氏(栗岡完爾氏:共著)と面談しました。

地域格差の正体は・・・高速道路の通行料金制度がもたらしている！今すぐ、明日からでも通行料金制度を撤廃すべきである！その理由としては・・・栗岡完爾氏(元トヨタ自動車副社長)、近藤宙時氏(経営コンサル・行政書士)が確りと分析の上、公開しています。近藤様の東京オフィス(丸の内)に訪問し、地域格差の正体とエピソード、そして高速道路無料化推進協議会活動への支援意思や協働について、相互興味理解を進めながら、以下の面談をしました。

- ◆定額制走り放題の提言(普通車=1回400円)の実現により地域活性化につながる。
- ◆GoTo キャンペーンに限らず、高速道路の定額走り放題が客足を伸ばす。
- ◆政治行政の一極集中が地方と東京の結びつきを避けられず、物資が集中し、「距離制」が物流や人、金の交流を妨げる不利益となっている。
- ◆高速道路の事故発生の原因=渋滞を誘発する道路構造(形態)に有る！▶渋滞場所は、事故多発場所と重なる！運行管理の方は特に事故処理などで経験していると思います。
また、ドライバーへの教育対話では、次の3ヶ所は要注意とされていることでしょう(特にジャンクション等)
- ① 4車線から2車線になる箇所(車線変更時)
- ② 短い加速車線《建設段階での構造や設計上の無理な形状》(合流時)
- ③ カーブがきつく減速せざるを得ない(分岐点・車間距離不保持の追突・接触)
*渋滞を誘発する道路構造(形態)は、設計が悪い！安全を考慮していない！等の問題を懸念します。
- ◆高速道の利用が進めば環境と経済効率が悪くなり交通事故死亡者が減る
- ◆物流費が減少すれば地方の工場立地が増え、過疎化が止まり人口が増える。
- ◆地域交流が活発化し新たな文化・産業を生む

【結論】こんなに素晴らしい経済発展を阻害する理由は無い！

日本の高速道路を、経済・生活・文化の「動脈」を、「梗塞」させているのは「何」か？

※是非、会員各位に購読をお勧めいたします。私たちに見える現実、知らされる事実がそこにあります。

* 追記：ふと、テレビドラマの名セリフを思い出させてくれました。

《参考文献:ドラゴン桜2 著者:三田紀房氏》

～ 令和3年のTVドラマ「ドラゴン桜2(著者:三田紀房氏)・第3話」主人公:桜木のセリフです…

「自分に関係ない！」とか言っていると、一生だまされて高い金払わされ続けるぞ！何故、社会はこうなっているか？誰が、どんな意図でこの仕組みを作ったのか？ 本質を見抜き、自分なりの答えを出す力を付けろ、その時初めて馬車馬が人間になれる！～

以上